

燃料電池発電設備概要表

項目		良	否
設備種別	低圧発電 高圧発電		
機器種別	固体高分子型 リン酸型 溶融炭酸塩型 固体酸化物型 その他_____		
工事種別	新設 増設 全部改設 一部改設 移設 改修 増改設 その他_____		
設置場所(階)	_____階 屋上 屋外		
電圧	105 210 415 6,600 その他_____V		
出力	_____kW		
キュービクル該当否	該当 非該当		
非常電源該当否	非常電源該当 非常電源非該当 容量計算書の添付(有 無)		
熱源区分	灯油 重油 その他の液体燃料_____ 都市ガス LPガス その他の気体燃料_____		
保守管理	非該当 自家 委託 その他		
設置室	構造 壁(耐火 準耐火 不燃) 天井(耐火 準耐火 不燃) 開口部(防火戸 特定防火設備である防火戸) 換気 { 自然換気(FD付) 機械換気(ダクト FD付 耐火被覆) } ケーブル等の貫通部(大臣認定 不燃区画 その他_____) 室面積 _____m ²		
電気方式	発電専用 発電+熱供給 その他発電		
安全措置	対震装置(無 有) 型式番号_____ 設置位置(本体 室内) 製造会社_____ 自動停止(改質器温度異常 換気装置異常) 炎検知装置 立ち消え安全装置 空だき防止装置 自動温度調節装置 過熱防止装置 停電時安全装置 自動ガス遮断装置 その他_____		
燃料配管	材質(鋼管 銅管 その他) 配管方法(露出 埋設 隠ぺい)		
燃料タンク	容量_____L 材質(鋼板 その他_____) 板厚_____mm 固定方法(ボルト固定 溶接 その他) 本体からの水平距離_____m		
排気筒	貫通部の構造[遮熱材料(無 有) その他_____]		
燃焼空気 取入口等	給気口面積(_____cm ²) 給気口位置(床面から_____cm) 給気ファン(給気量_____m ³ /h) 給気ファンの位置(床面から_____cm)		
耐震措置	耐震クラス S A B アンカーボルト_____x_____本		
消火設備	消火器 大型消火器 スプリンクラー 水噴霧 泡消火 CO ₂ ハロン 粉末 IG-55 IG-541 窒素 HFC-227ea HFC-23 その他_____		
警報設備	自動火災報知設備 非常ベル 放送設備 ガス漏れ警報設備 その他_____		
その他	非常電源の認定番号_____ 製造者名_____		

- 備考 1 項目中、□欄は該当するものに✓印を付し、下線部分には該当する内容を記入すること。
 2 良否欄は、記入しないこと。
 3 火災予防条例(昭和37年東京都条例第65号)第8条の3の区画ごとに作成すること。
 4 キュービクルは、「キュービクル式変電設備等の基準」(昭和50年10月東京消防庁告示第11号)に適合したものを該当とする。